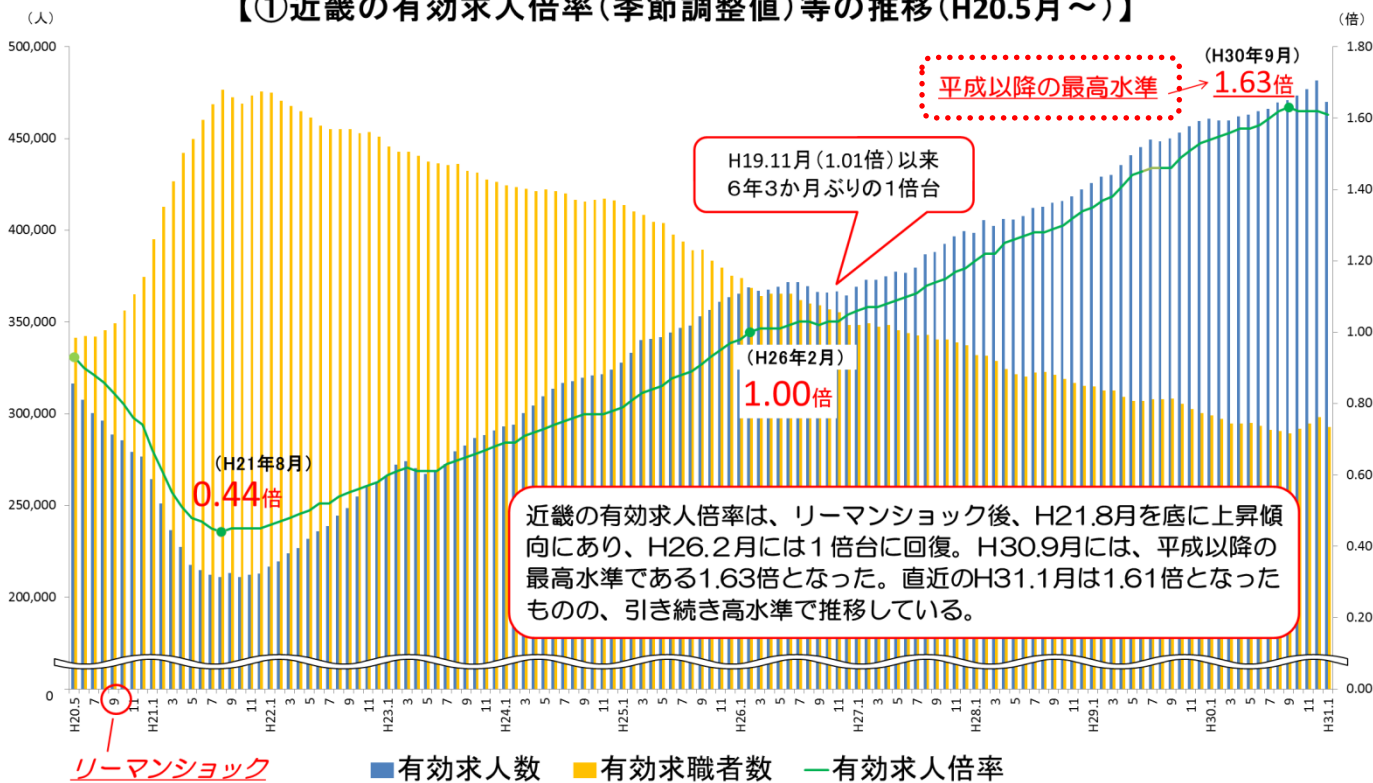


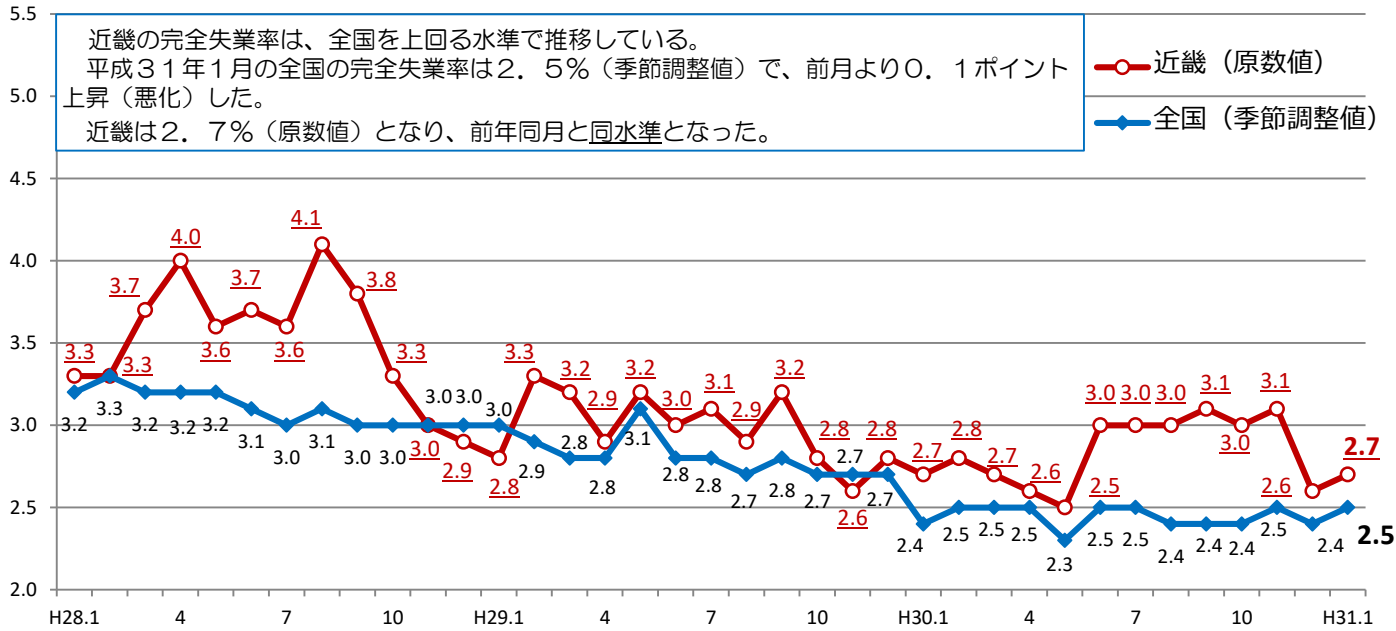
【①近畿の有効求人倍率(季節調整値)等の推移(H20.5月～)】



近畿の最新月の状況 (平成31年1月)

■有効求人倍率(季節調整値)	1.61倍	(対前月差0.01P低下)	⇩
(滋賀1.39倍 京都1.56倍 大阪1.78倍 兵庫1.45倍 奈良1.49倍 和歌山1.37倍)			
■新規求人倍率(季節調整値)	2.60倍	(対前月差0.13P上昇)	⇧
■有効求人数(季節調整値)	469,803人	(対前月比2.5%減少)	⇩
■有効求職者数(季節調整値)	292,616人	(対前月比1.9%減少)	⇩
■新規求人数(季節調整値)	168,081人	(対前月比3.3%増加)	⇧
■新規求職申込件数(季節調整値)	64,616件	(対前月比2.1%減少)	⇩
■完全失業率(原数値)	2.7%	(前年同月と同水準)	⇨

【②完全失業率の推移(全国・近畿 月別)】



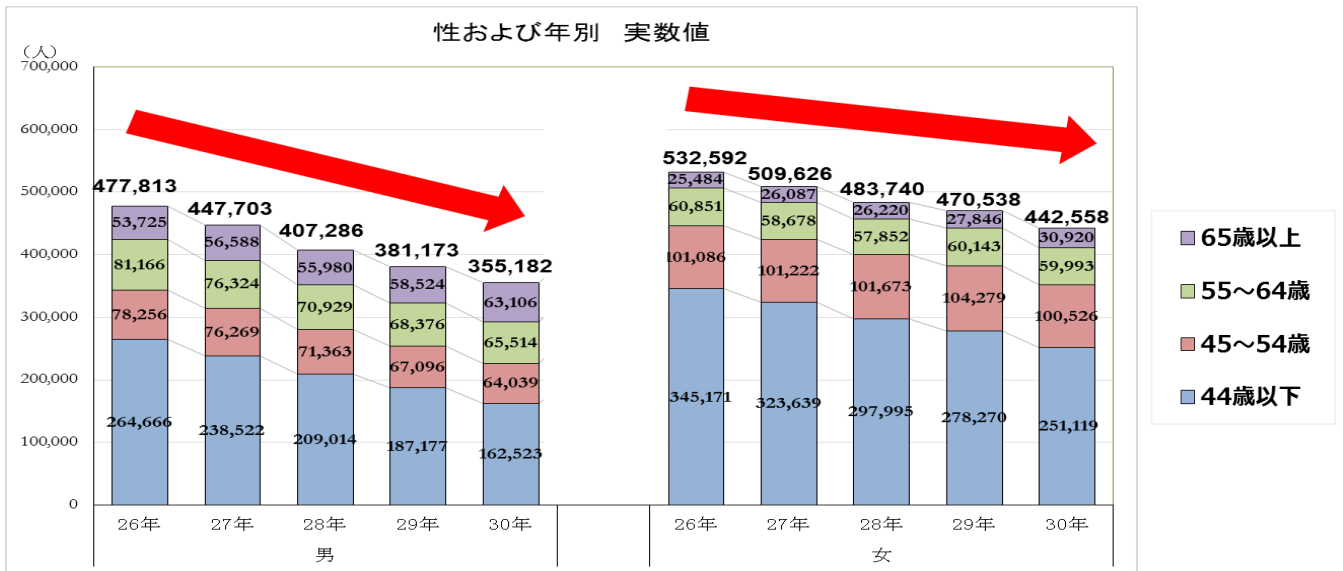
【③近畿 新規求人数の推移(原数値)】

	H30年	H29年	前年比
産業計	1,969,650	1,900,484	3.6
建設業	130,562	119,400	9.3
製造業	203,984	193,314	5.5
食料品	39,437	37,828	4.3
繊維	10,530	10,962	▲ 3.9
木材	2,472	2,507	▲ 1.4
家具	2,344	2,234	4.9
パルプ	4,874	4,863	0.2
印刷	7,312	7,563	▲ 3.3
化学	9,067	8,358	8.5
プラスチック	13,683	12,591	8.7
ゴム	2,801	2,502	12.0
窯業	3,768	3,569	5.6
鉄鋼	5,231	4,491	16.5
非鉄	2,553	2,394	6.6
金属製品	26,136	23,671	10.4
はん用機械	15,743	14,345	9.7
生産用機械	10,192	8,999	13.3
業務用機械	4,774	4,912	▲ 2.8
電子部品	5,794	6,915	▲ 16.2
電気機械器具	14,961	14,103	6.1
輸送	9,050	7,895	14.6
自動車	6,033	5,291	14.0

	H30年	H29年	前年比
情報通信	54,972	53,945	1.9
運輸業	128,295	120,083	6.8
旅客運送	30,287	29,111	4.0
貨物運送	74,581	71,375	4.5
卸売・小売	252,163	251,299	0.3
卸売	66,235	67,278	▲ 1.6
小売	185,928	184,021	1.0
学術研究	55,196	56,007	▲ 1.4
飲食・宿泊	177,220	176,305	0.5
宿泊	25,638	23,958	7.0
飲食	140,056	142,597	▲ 1.8
生活関連・娯楽	82,003	79,180	3.6
教育・学習	31,626	31,961	▲ 1.0
医療・福祉	493,757	474,285	4.1
医療業	156,548	151,662	3.2
社会保険	335,624	321,010	4.6
サービス	244,935	233,339	5.0
紹介・派遣	57,213	52,520	8.9

近畿の新規求人数(原数値)は、平成30は前年比3.6%増と、9年連続で増加した。
ホテル・倉庫・マンション等の建設や、リフォーム、土木工事等が好調な「建設業」が大きく増加した。
「ゴム」「輸送(自動車)」などの自動車関連や、「はん用機械」「生産用機械」などの産業用機械関連、及びそれらの部品となる「鉄鋼」「金属製品」が増加し、また、それらの製造現場への「紹介・派遣」求人も増加した。引き続き「化学」「プラスチック」(化粧品等)や「宿泊」などのインバウンド関連も増加が続いている。

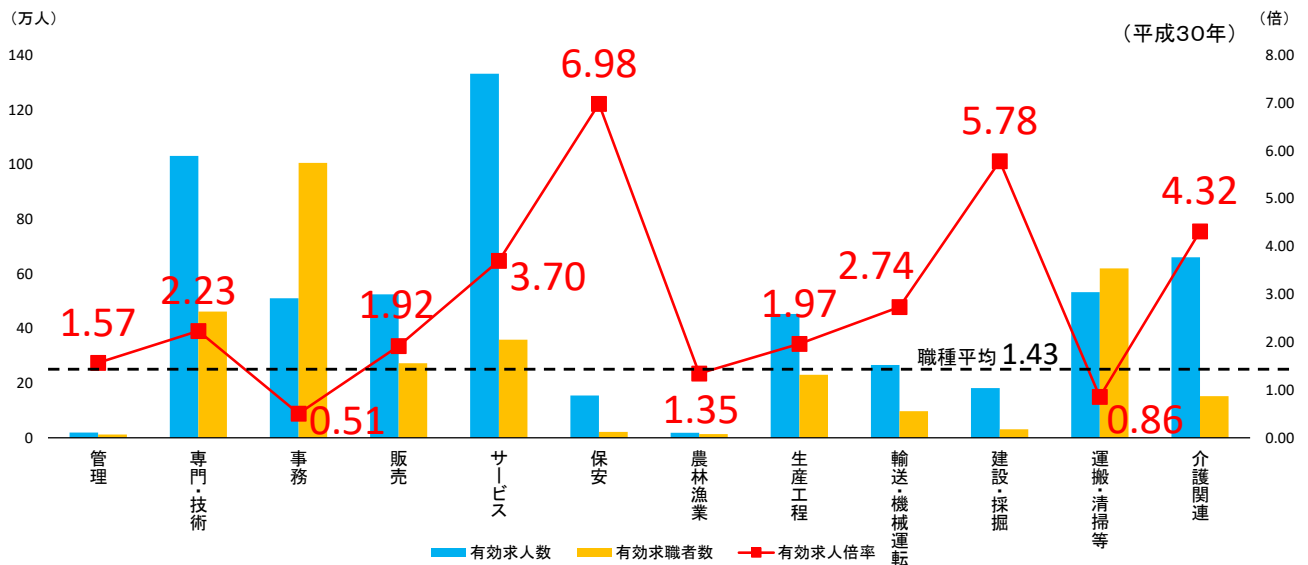
【④近畿 年齢・性別 新規求職申込件数の推移】（常用計・過去5年）



- ・新規求職者（常用計）は男女とも減少が続いているが、特に「男性」「44歳以下」の減少幅が大きい。
- ・全体では減少が続く中、「65歳以上の男性・女性」が増加し、「45～64歳の女性」の減少幅は小さくなっている。
- ⇒「好調な雇用情勢」「少子化」「65歳までの定年延長・再雇用の義務化」を背景に、若年層や60歳前後の求職者が減少傾向にあるが、従来労働市場に出ていなかった「65歳以上（定年後）の男女」「中高年齢層を中心とした女性」が、新たに労働力となっているものとみられる。

【⑤近畿 職業別有効求人倍率等の状況】（常用計）

	職業計	管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	生産工程	輸送機械運転	建設探掘	運搬清掃等	介護関連
平成30年	1.43	1.57	2.23	0.51	1.92	3.70	6.98	1.35	1.97	2.74	5.78	0.86	4.32
平成29年	1.30	1.41	2.09	0.44	1.66	3.35	6.19	1.21	1.62	2.42	4.61	0.80	3.94
比較	0.13	0.16	0.14	0.07	0.26	0.35	0.79	0.14	0.35	0.32	1.17	0.06	0.38

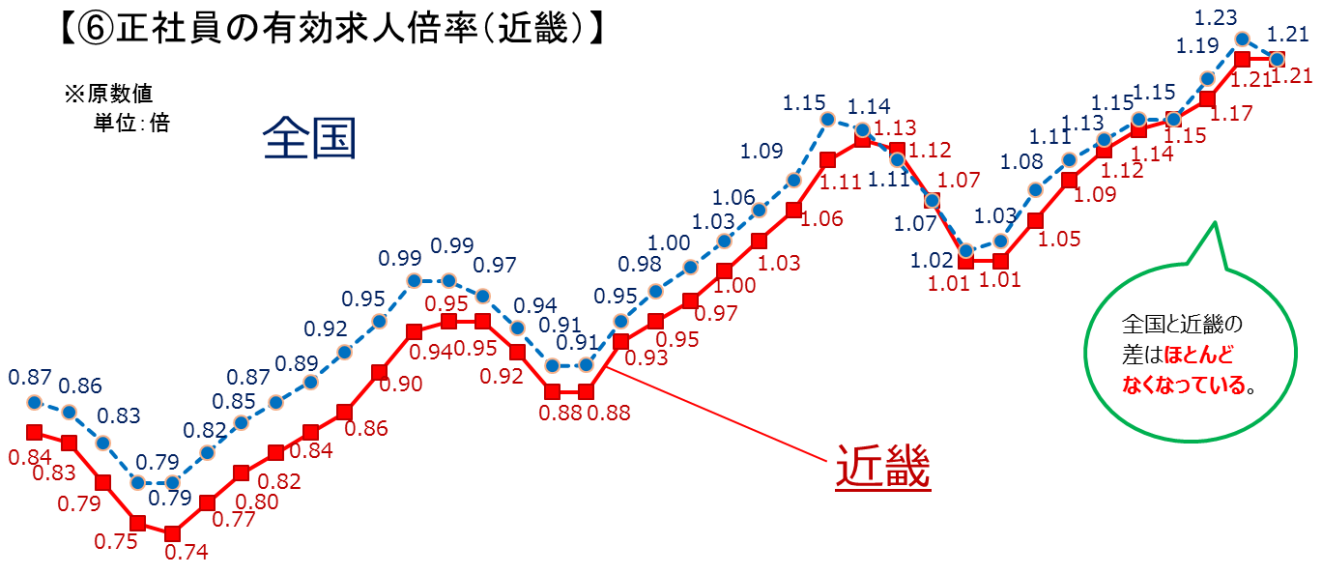


「保安」「建設・探掘」「介護関連」など、人手不足分野の有効求人倍率が高くなっており、かつ、前年からの上昇幅も大きい。

【⑥正社員の有効求人倍率(近畿)】

※原数値
単位:倍

全国



全国と近畿の差はほとんどなくなっている。

近畿

近畿における正社員の有効求人倍率(原数値)は、平成22年6月より104か月連続で前年同月を上回っている。全国を下回る水準で推移してきたが、平成30年以降は、ほとんど差がなくなっている。

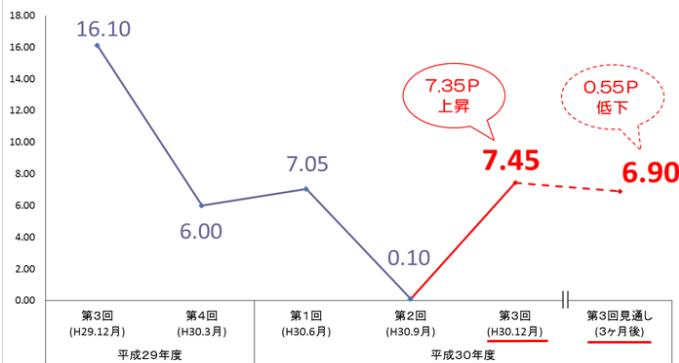
平成28年												平成29年												平成30年												平成31年
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1

○平成30年度 第3回ハローワーク雇用等短期観測の結果

【調査時期：平成30年12月3日～12月28日 回答企業：316社】

◇景況感について

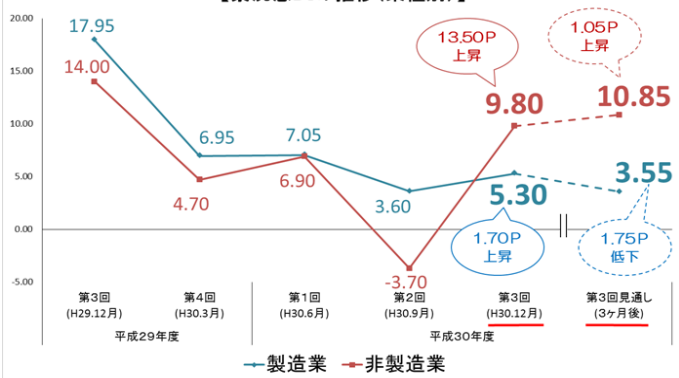
【景況感DIの推移(全企業)】



※大阪労働局では、事業所サービスの一環として、大阪市内の景気や事業活動による雇用への影響等を的確に把握し、事業主に必要なサービスを提供するために、平成25年度から四半期毎に、ハローワークによる管内企業への個別ヒアリングを実施しており、今回平成30年度第3回目を実施しました。

景況感DIは、前回より7.35P上昇し、7.45となった。前回の台風の影響による落ち込みから回復していることが分かる。

【景況感DIの推移(業種別)】



※景況感DI:「良い」または「やや良い」と回答した企業の割合から「悪い」または「やや悪い」と回答した企業の割合を差し引くことによって算出した指数。

景況感DIを業種別にみると、「製造業」と「非製造業」の両方で上昇しており、特に「非製造業」の上昇幅が大きい。